

この夏、哲学をはじめよう

第45回

夏期哲学講座

2025 8/23^土 13:30-24^日 16:10

人はどこから来てどこへ行くのか――

あなたの周りには、哲学する場があるでしょうか
哲学について考え、語り合う場があるでしょうか

今年で四十五年目を迎えるこの夏期哲学講座は
直に人と出会い、人と対話して、
生きた哲学を学ぶことのできる講座です。

「少し興味があります」という方から
「長年、哲学を勉強しています」という方まで、
どなたでも参加できます。

場所は、日本最初の哲学者・西田幾多郎の故郷
日本海をのぞむ「哲学の博物館」
安藤忠雄が設計した、考えるための空間です。



石川県 西田幾多郎記念哲学館

Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126

石川県かほく市内日角井1番地

TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320

Email nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

<https://www.nishidatetsugakukan.org/>

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

交通アクセス

- 車利用：北陸自動車道「金沢東I.C.」～約20分
のと里山海道「白尾I.C.」～約5分
- 電車利用：JR金沢駅～IRいしかわ鉄道経由・
七尾線(約25分)～宇野気駅

- 日時 令和7年8月23日(土) 13:30 ~ 24日(日) 16:10
■会場 石川県西田幾多郎記念哲学館(石川県かほく市内日角井1番地)
■定員 40名 ※定員に達し次第締め切り、キャンセル待ち受付となります。
■受講資格 18歳以上

- 受講料 〔一般〕10,000円 〔学生／かほく市民〕6,000円
※24日の昼食がつきます。
※学生割引については、科目等履修生(聴講生)は対象外とさせていただきます。

- 懇親会 23日18時より、下記会場で懇親会を行います。参加希望の方は、懇親会費5,800円を、受講料とともにお振込みください。
※締め切り後のキャンセル返金はいたしかねますのでご了承ください。

食楽庵かほくさんまる 〔JR宇野気駅から徒歩5分〕

■宿泊方法

- ◎ 旅館 旅館は各自でご予約ください。参考までに、市内の駅最寄りの宿名と電話番号を記載しますので、よろしければご利用ください。詳細は、直接宿にお問い合わせください。

なごみ亭(旧さか井や旅館) (076) 283-5550 〔JR宇野気駅から徒歩1分〕

河北亭 (076) 281-0013 〔JR高松駅から徒歩11分〕

■交通アクセス

哲学館がある「かほく市」は、能登半島の根元、金沢市より20km北に位置します。

- ・自動車:北陸自動車道(金沢東IC)から、国道159号線で七尾方面へ約20分。
のと里山海道(白尾IC)から約5分。
- ・電車:JR金沢駅から、IRいしかわ鉄道経由・七尾線で宇野気駅へ約25分。
宇野気駅から徒歩約20分(タクシー5分)。
- ・飛行機:小松空港から空港バスで金沢駅まで約50分。金沢駅からは同上。

- ◎ 宇野気駅から哲学館まで、講座期間中は下記の無料送迎バスをご用意いたします。
時間の都合が合うようでしたらご利用ください。

	〔行き〕河北亭発	〔行き〕宇野気駅発	〔帰り〕哲学館発
23日(土)	—	12:05、13:05	17:30
24日(日)	8:10	8:30	16:30

※バスの発着場所は、宇野気駅正面東口(銅像側)になります。
時刻が変更となる場合は、講座中にお知らせします。

- 申込締切 令和7年7月31日(木)
※定員に達し次第締め切り、キャンセル待ち受付となります。

■申込先、お問合せ

石川県西田幾多郎記念哲学館
〒929-1126 石川県かほく市内日角井1番地
TEL (076)283-6600 / FAX (076)283-6320
E-mail: nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

申込受付後に参加案内を郵送いたします。申込後、二週間以内に参加案内が届かない場合は、電話かFAXでお問い合わせください。Emailの返信が一週間以上ない場合も、同様にお問い合わせください。

■ 申込方法

- 下記①～⑬の項目を、全てご記入の上、哲学館までお申し込みください(郵送、メール、FAX可)。
申込受付後に、振込用紙をお送りいたします。　　　　　　　　(＊マークは、いずれかをご記入ください)
- ①名前(ふりがな)　②電話番号　※講座開始までの間に、必ず連絡がとれる番号をお知らせください。
③郵便番号・住所　④性別　⑤年齢　⑥参加回数　⑦職業　※学生の方は、学生証のコピーを添付してください。
⑧「宇野気駅～哲学館」の無料送迎バスを　＊利用する／利用しない
⑨24日朝「河北亭～哲学館」の無料送迎バスを　＊利用する／利用しない
⑩参加を希望する研究会を選択してください。(下記参照)
　○(23日)研究会Ⅰ……＊第1希望　A／B／C、＊第2希望　A／B／C
　○(24日)研究会Ⅱ……＊第1希望　A／B／C、＊第2希望　A／B／C
　※教室の人数調整上、第2希望を受講していただくことがありますので、ご了承ください。
⑪最近興味のある事・本、参加動機などを100字程度でお書きください(受講生に配布する冊子に掲載します)。
⑫23日の懇親会に　＊参加する／参加しない
　※上記項目のうち、都道府県および①⑥⑩⑪は、受講生に配布する冊子に掲載させていただきますのでご了承ください。
　また、この個人情報は、哲学館で開催される講座に関する当人へのご連絡以外の目的には使用いたしません。
⑬当日写真の館SNS掲載　＊可／不可
- ◇受講生による研究発表が24日にあります。発表を希望される方はテーマをお知らせください。
　※発表時間はお一人15分以内となります。希望者が多い場合はお断りすることがありますのでご了承ください。

	講師	8月23日（土） 研究会Ⅰ	8月24日（日） 研究会Ⅱ
A	美濃部　仁	ニーチェの超人思想	西谷啓治における「空」と大乘仏教における「縁起」
	講師のコメント	「人間」は「乗り越えられなければならないものである」とニーチェは書いています。『ツァラトゥストラ』を手がかりに、その意味を考えます。そこには仏教の無我の思想に通じるものもあるように思われます。	西谷は「空」の立場に立って自らの思想を展開していますが、自分の言う「空」は仏教から「かりて来られた」ものであると言っています。龍樹や華嚴の思想を顧みながら、それはどういうことかを考えます。
B	杉田　孝夫	カントの政治哲学の読み方	フィヒテ『ドイツ国民に告ぐ』を読む
	講師のコメント	カントの哲学からどのような政治が考えられるでしょうか？　カントは、アンシャン・レジームの克服という課題を抱えた時代に生きる哲学者として、自由の権利の政治哲学に取り組みました。その時代と思想を読み解きます。	ナポレオンによる占領下で、フィヒテはドイツ国民を鼓舞する演説を行いました。そのテキストが、ドイツのみならず各国のナショナリズム運動のバイブルとして受容されたのはなぜなのかを考えます。
C	浜田　郷史	「良心」について改めて考える —「自己決定」とは何か？—	仕返しの倫理学
	講師のコメント	何かを「自分で決める」とき、自分の「良心」を信頼することはできるのでしょうか？　倫理学のテキストを手がかりに、「良心に導かれた自己決定」が現代の労働や教育とどう関わるのか考えます。	「目には目を」という考え方があります。ケルゼンという法哲学者は、それが古代の「魂」の思想に根ざすと述べました。彼の主張を手がかりに、仕返しの応酬を終わらせるための倫理学を考えます。

※研究会で使用するテキストは、主催者側で用意します。

第 45 回夏期哲学講座 日程と講座内容

時間	8月23日(土)	8月24日(日)
9:00	*受付は随時行います。 受講生は受付後、展示室への入室ができます。	8:45
10:00		研究会Ⅱ (選択制)
11:00		11:45
12:00		昼食
13:00	12:30 ビデオ上映「西田幾多郎」 (希望者のみ)	12:50
	13:30 開講式	研究会発表
	13:45	13:50
14:00	オリエンテーション・写真撮影	休憩
15:00	14:15	公開講演会
	研究会Ⅰ (選択制)	15:30
16:00		15:40
		閉講式
17:00	17:15	16:10
18:00	18:00	
	懇親会 (希望者のみ)	
	19:50	

公開講演会

※受講生以外も聴講できます。(参加費 500 円)

8/24 (日) 14:00 ~

無の場所に於てあることと時に於てあること
—西田の場所論の体系的理解の試み—

美濃部 仁 (明治大学教授)

「場所」の概念は、西田の思想を体系的に理解する際、その要となるものであると私は考えています。経験の場所性は経験の時間性と切り離せないこと、場所において「私」は「私と汝」であることなどについてお話しします。

講演会・研究会講師プロフィール

美濃部 仁 (みのべ ひとし)

明治大学国際日本学部教授。京都大学で上田閑照、ヴァンターナルで W. ヤンケに学ぶ。論文に「フィヒテの現象概念」、「西田における絶対無と個」、「火は火を焼かない—西谷啓治における「空」と「回互」」等。西田哲学会会長、国際フィヒテ協会副会長。心茶会会長。

杉田 孝夫 (すぎた たかお)

お茶の水女子大学名誉教授。山形大学、東京教育大学、東京都立大学で学ぶ。専門は政治思想史。論文に「ナショナリズム」、「カントと日本国憲法をつなぐ」、「二つの平和論」等、訳書に『啓蒙・革命・ロマン主義』等。元日本ヘーゲル学会代表理事、日本フィヒテ協会委員。

浜田 郷史 (はまだ さとし)

国際医療福祉大学等講師。上智大学で学ぶ。専門はカント哲学・倫理学。論文に「交錯としての世界—『純粹理性批判』第三類推の視角」、「実体の二つの意味について—『純粹理性批判』第一類推における実体概念の検討」、「カントの競争的人間観」、共訳に『フィヒテ全集』等。